



PHJ メールニュース 2010年6月号

送信日時：2010年6月25日

PHJ メールニュース読者の皆様

梅雨の合間の青空がうれしいこのごろです。皆様お元気ですか？6月はピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ)の会計年度の終了月です。PHJ メールニュース 2010年6月号では一部の事業で1年間のまとめを記載しています。

PHJ メールニュースはPHJの活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 6月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 國學院大學のセミナーで講演
- 1-2. JICA 機関紙に企業のCSR活動としてPHJが紹介されました
- 1-3. ミレニアム開発目標とPHJの活動
- 1-4. プレスレットでできる支援
- 1-5. 2011 チャリティカレンダー

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. HOPE パートナー教育プログラム
- 2-2. 小児先天性心臓病手術支援

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 栄養教育活動
- 3-2. 口腔衛生事業

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 母子保健一助産師トレーニング プレイベン

4-2. 母子保健改善事業 バライサントウク

4-3. クメール伝統楽器の演奏

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 國學院大學のセミナーで講演

5月27日、6月3日 東京・渋谷にある國學院大學の法学部オムニバスセミナーで PHJ 東京事務所の石関（海外事業担当）が、NPO の現場の支援活動に関する講義を行いました。当日の様子は、PHJ のスタッフブログ http://blog.livedoor.jp/ph_japan/ または下記國學院大學ホームページより確認いただけます。

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary100527.html>

1-2. JICA 機関紙に企業の CSR 活動として PHJ が紹介されました

JICA の機関誌「JICA`s World 6月号 No.21」の特集「2015 約束の年—8つの宿題」の【MDGs 達成に向け立ち上がる企業！】という見出しで味の素株式会社様とアステラス製薬株式会社様の CSR として、PHJ の活動が紹介されました。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4c0dd5624149a>

1-3. ミレニアム開発目標と PHJ の活動

PHJ のホームページで国際社会が 2015 年までに達成する目標として掲げているミレニアム開発目標（MDGs）に沿った PHJ の活動を紹介しています。 <http://www.ph-japan.org>

1-4. ブレスレットでできる支援

カルティエ社は 2008 年、2009 年に引き続き 2010 年の LOVECHARITY ブレスレットの売上げの一部を PHJ に寄付していただきます。PHJ ではこのご寄付をカンボジアの子供たちへの栄養給食、伝統楽器の寄贈、レッスンやコンサートに使わせていただいています。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/corporate/titile_sponsor.html#jirei_02

1-5. 2011 チャリティーカレンダー

タイ・カンボジア・インドネシアといった子供たちの絵をふんだんに使った PHJ のチャリティーカレンダーは毎年大好評です。多くの人に親しまれているこのカレンダーを作る側にも使う側にもより魅力的なものにするため、新しい企画をスタートさせています。題して「見て、読んで、楽しむ『アジアのおはなしカレンダー』」。海外だけでなく日本の子供たちも参加し、それぞれの国の「おとぎばなし」をテーマに絵を描いてもらうことになりました。カレンダーには各国で選びぬかれた絵と簡単な解説を掲載しますので、絵を見るだけでなく、その国に伝わるおはなしまでを楽しむことができます。このカレンダーに携わ

るさまざまな人にとって、異文化への関心を高めるきっかけとなることを願っています。

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. HOPE パートナー教育プログラム

1998 年以来総計 200 名の患者を支援してきました。そのうち 116 名がプログラムを卒業し現在 67 名のドナーが 67 名の患者の里親になっています。5 月にはサンパトン病院、チェンライ地域病院、サンサイ病院、R I C D (チェンマイにある小児生育診療センター) で「筋力向上エクササイズ」に 55 家族が参加しました。特別教育として喘息の子供に関するハンドブック 500 部作成。5 月 2 日旅行に 22 家族が参加。5 月 26 日「世界喘息の日」に展示会を実施、42 家族参加。ラーニングセンターの利用者は 82 名で 5 月のテーマは障がい児の特別教育と権利についてでした。そのほか 3 回にわたり 2 名の利用者に専門医が家庭でのプログラムを実施しました。6 月も引き続き「筋力向上(足の筋肉)」をテーマに教育を行います。

2-2. 小児先天性心臓病手術支援

5 月 25 日に 1 名の手術、6 月 9 日 1 名の手術を実施し 2010 年度の患者計 10 名の手術を完了しました。6 月 16 日 25 名の看護師を教育します。テーマは「両親によるケアについて」です。このプログラムの支援企業、セントラル硝子様に 3 年の事業報告を行います。

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 栄養教育活動

5 月には「テンペ」(納豆) をテーマに第 2 回のメニューコンテストを開催しました。前回の「豆腐」テーマよりさらに多いアイデアにあふれた料理が出品されました。審査にはテイルタヤサ自治区長も参加し、工夫されたメニューに驚いていました。又他の素材を活用してさらに多くのメニューを考案して欲しいと奨励していました。

栄養教育のために国立栄養教育センターで診療所医療従事者、助産師、ヘルスポランテニアを対象にして 6 月に 3 泊 4 日の集中研修を企画しています。合計 44 名が参加します。

3-2. 口腔衛生教育

6 月 12 日 東バリ歯科医師を対象に「小児歯科」「矯正」技術についてインドネシア大学、トウリサクテイリ大学の先生の講義と実習を行いました。

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 母子保健—助産師トレーニング プレイベン

5月17日より助産師2名を対象に第3回トレーニングを病院で開始しました。これで2010年度の病院でのトレーニング6名を終了することができます。2011年度は8月に2名の保健センター助産師を病院でトレーニングを行います。

4-2. 母子保健改善事業 バライサントウク

保健センター医療技術・運営向上： 衛生モニタリングと備品のチェックでPHJ管轄化の保健センターはほぼ満点。保健センタースタッフ会議、運営委員・ボランティア月例会議、伝統的産婆の会議などで村人の保健意識、実践の難しさ、ボランティアの役割、「自宅分娩」を選択する妊婦の行動などについて情報を共有します。

保健センターと村のネットワーク：保健センター主催でヘルスボランティアが村人へ適切な保健教育を行えることを確認し、保健センタースタッフとの役割を認識するためのトレーニングを実施した結果、1月の試験成績の6割から9割に向上しました。7村で保健教育を実施し、PHJで作成した教材を使い、「下痢」「デング熱」「衛生」をテーマに410名（1村平均59名）が受講しました。

4-3. クメール伝統楽器の演奏

5月8日のコンサートの動画をホームページに掲載しました。

■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。

<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2010年6月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール

ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン
